

## 【創作舞踊部 予選講評】

- 厳しい状況のなか、作品を創り、参加されたことに敬意を表します。いろいろと工夫も見えましたが、その工夫が作品の表現(意味)にもっとかかるとよいと思います。別の言い方をすると、題名と作品の関係をもう少し具体的に考えてみて下さい。
- 動きが適確になってきた。音の選択が良くなった。テーマが意味不明なものがあった。全体として、レベルが上がっていて、差がつけにくくなったことは喜ばしい。
- 今回はソロ、デュエットが多くありましたが、それぞれ個性的な感性が表面に出てきていて、私は楽しめた作品が多くありました。これからも創造の世界がもっと広がっていくことを祈っています。
- 出演者のみなさん、テクニックもあり、レベルが高かったと思います。音が合っていないように感じる作品もありました。作品のイメージに合った曲選びを作品の為にオリジナリティーある振付があるものが良く見えた気がします。
- それぞれのボキャブラリーの出発がある事がわかった。あと一息、冒険があってもいいかと…。決選に残った場合は出発点にあった事が強調されることを希望したい。ソロでも群でもその広がりも重さも、表現の中にあるので、形式にとらわれず挑戦されたらと思う。
- 頭で構築を考えるのではなく、身体の中からわき出るイメージを大切にスペースにもって行ってほしい。舞台上で見る方向、フォーカスは意味を持ってくるので、無責任にあちこち見ない。タイトルが面白いものが多数あったが、作品のイメージの中に反映してほしい。男性ダンサーで個性が光る方が何人かいた。

■ダンステクニックはとてもレベルが高く向上している作品だったと思います。人と人の組み合わせ、コンタクトのレベルもあって、床のつかみ方もていねいに雑のない演技で、とぎれることがなく集中して作品を見ることが出来ました。タイトルの意味がわからないものが数点ありました。サブタイトルがほしかったです。かといって、必要のない作品もあったので、「自分が?!」と思われる方は多くの方への感想を聞かれると良いと思います。今回、集中した作風で、今後のものづくりをする方々が多くなることを願います。

■今回もいろんな景色が拝見出来て、たくさんの事を想像させていただきました。創作なので動きだけでなく、心の動きや流れが見えると、舞台の空間がさらに広がります。そして言葉がないので、しっかりと身体で精一杯表現をして欲しいと願います。

■創ることを楽しんでいるように感じました。舞踊でしか表せない領域にたどりつくような作品がみたいと思いました。メンバーとの関係だけでなく、空間・時間とつながり、広がっていくような尊い体験をして下さい。